

ボランティア・
NPOの情報誌

ひび

70号

Jan. 2025

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地

沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

認定NPO法人
徳島こども食堂ネットワーク
大人もこどももみんなが笑顔になる
「こども食堂」

NPO法人 竹林再生工房かぐや乃さと
ひと 理事長 柿原 達さん
～ 竹の声を聴きながらまちの美化と再生を～

シリーズ この人から
一般社団法人 リボンズ 代表
大谷あおいさん
LINE相談とオープンダイアログ

事業紹介 「ゆめバンクとくしま」
寄付による助成事業の活動報告

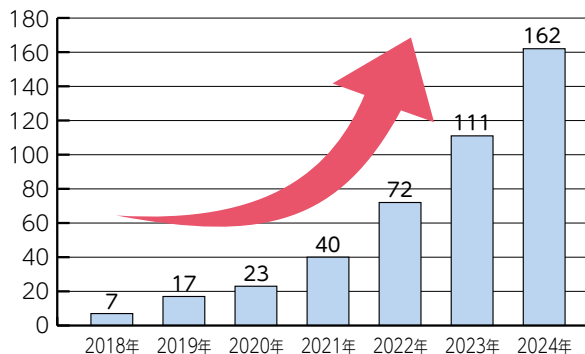
ハートリレー
No.70 川上さんから高島さんへ



こども食堂ってなに？

子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。徳島県では現在160件を超えるこども食堂があります。全国的にも徳島県の増加率は目を見張るものがあります。県内のこども食堂を支える「徳島こども食堂ネットワーク」の取り組みや加盟団体をご紹介します。

徳島県内のこども食堂の箇所数の推移



大人も子どももみんなが笑顔になる「こども食堂」

徳島こども食堂ネットワーク理事長 **佐伯 雅子**さん

こども食堂って聞くと「経済的に困っている家庭の子どもが行くところ」というイメージがあるようで、コロナ禍でもわざわざ知り合いのいない遠くのこども食堂に行くという家庭が沢山ありました。本当は大人も子どもも高齢者も、誰もが集える場所として利用して欲しいと思っています。大人が楽しい顔をして幸せだと、子どもも幸せを感じます。色々な笑顔が集まる場所にしたいんです。『こども食堂をやってみたい』と言ってくれる人にはぜひ継続してもらいたいため、開催場所など様々な課題を丁寧に聞きとりして伴走したいと思っています。

コミュニティセンターの使用料減免など行政に支援の働きかけをするのは、私たち県域ネットワークの使命だと考えています。徳島県では「市町村に最低1つのこども食堂を設置する」という方針のもと様々な機関が連携し達成しています。今後は小学校区ごと（子どもが歩いて行ける距離）に1つの設置を目指しています。

いつかは「朝ごはん食堂」をどこかのこども食堂の団体さんと一緒にやりたいです。年齢が低ければ低いほど朝ごはんの重要性・必要性は増します。他県での実績もあるので参考にしつつ、徳島ならではの朝ごはん食堂をやりたいですね。



理事長の佐伯さん

徳島こども食堂ネットワーク

- 沿革 2018年12月 『広がれ！こども食堂の輪全国ツアー』を徳島で開催
- 2019年09月 フードバンクとくしまの中にこども食堂ネットワーク事務局開設
- 2021年06月 こども食堂ネットワーク事務局移転
- 2021年09月 徳島地方法務局に法人登記提出（NPO法人化）
- 2023年08月 認定特定非営利活動法人として認定される

開設時の事務局はフードバンクとくしまの事務局内にありましたが、2021年6月に現在の場所に独立。2018年の県内のこども食堂の数は7箇所でしたが、2024年9月現在は162箇所。

行政・全国こども食堂支援センター・むすびえや様々な機関と連携し、徳島のこども食堂の運営を応援しています。

【事務局】

〒770-0037
徳島県徳島市南佐古七番町8-30 第二辻マンション101号
電話：090-7708-2922（平日 10時～16時）
E-mail：info.kodomosnw@gmail.com





代表の山本さん

カラ・ふるの「カラ」はギリシャ語で「喜び」、「ふる」は英語の“full”と日本語の“降る”両方の意味。喜びがいっぱい降ってくるような場所にしたいと名づけました。地区の小学校を中心に学区外からも合わせて40名を越える子ども達が登録・参加中。懐かしく思ってもらえる居場所づくりを目指しています。

居場所カラ・ふる



ピュウフェスタイル

流しそうめん

居場所カラ・ふるの魅力・特徴

- ・「おうち」の環境と広い庭で自由遊び
- ・異年齢の子ども達が交流できる
- ・11匹の猫と2匹の犬がいるので動物とも触れ合える
- ・ホームステイ中の留学生と交流できる
- ・小学校を卒業しても遊びに来られる



今後の目標

大人になった時に「あんな場所があったよな」と懐かしく心温めてもらえたり、ふらっと訪ねてもらえる地域の居場所を作りたい。そのためには継続が大切。地域のいろんな方々に居場所づくりに参加してもらえるように働きかけていきたいです。

居場所カラ・ふる

開催日：毎週火曜・金曜
 時間：14時～18時
 (夏休みなどは10時～16時)
 場所：小松島市赤石町の民家
 参加対象：基本的には登録した小学生
 参加費：無料
 代表者：山本 純 (やまもとじゅん)
 連絡先：090-1326-5666
 karafuru2022@gmail.com



看板犬 ひまわりちゃん



代表の赤澤さん

54年前に移築した板野西小学校の講堂は「牛小屋」「にんじん集荷場」を経て、現在は子どもや大人の居場所、いろいろな人が集まる場として、唐園芸術群「いたの学舎」になりました。ずっと温めてきたやりたかった思いを胸に、2024年4月から走り始めています。いろいろな人が集まるとそこには楽しいことがいっぱい生まれます。子どもたちがいろんな大人たちとの交流を通して自分の未来を創っていく、そんな場所になればいいと思います。

いたの学舎 唐園ちいき食堂



子ども槍道場

ハートフルコンサート

唐園ちいき食堂の魅力・特徴

- ・羽釜で炊いたご飯や旬のものを取り入れた食事を提供
- ・障がい者、大人、子どもと一緒に育ちあう場づくり
- ・音楽療法士によるハートフルコンサート
- ・いたの学舎で絵を描いたり草木染体験をしたり、体験活動いろいろ！
- ・古武道である槍術を使った子ども槍道場



草木染

今後の目標

どんどんアイデアが降ってくるので、これからも「いたの学舎」でいろいろやっていこうと思います。子どもも大人も障がい者も普通にあたりまえのように周りにいて、特別扱いするのではなく、それぞれが得意なことをする、そんな社会になっていけばいいと思います。

唐園ちいき食堂

開催日：毎月1回(第4日曜)
 時間：10時～15時
 場所：板野郡板野町唐園字東西窪4番地
 (唐園芸術群)
 参加対象：どなたでも(要予約)
 参加費：高校生以下無料、それ以外は200円
 代表者：赤澤 貴子 (あかざわ たかこ)
 連絡先：090-5048-4761
 akazawa3yo@gmail.com



八万子ども食堂



八万子ども食堂の魅力・特徴

- ・防災訓練やもちつきなど季節のイベント盛りだくさん
- ・誰でも利用できる『ユニバーサルカフェ』として2023年に認定
- ・手話、ガイドヘルパー(視覚障がいのある人のガイド)、外国語対応可能
- ・大勢のボランティアスタッフが調理、皿洗い、駐車場整備などで大活躍



今後の目標

いつまで続けられるか分からんけど、今やってる事をポチポチと続けていきたいですね。来てくれる人がおって、大人も子どもも関係なく楽しんで帰ってくれたら、何よりです。

令和5年5月5日(5並びの日)にオープンし、当初は30人くらい来てくれたらと思っていましたが、どんどん増えて今は200人近くになる日もあります。羽釜で炊くご飯は最近では5kg×3回炊いています。それもこれも、20人を越えるボランティアスタッフが来てくれるし、野菜や米を提供してくれるから続けていけています。



代表の木村さん

八万子ども食堂

開催日：毎月2回(第2、4土曜日)
 時間：11時～13時
 場所：徳島市城南町1丁目12-33
 参加対象：どなたでも
 参加費：高校生以下無料、それ以外は300円(ボランティア無料)
 代表者：木村 洋一郎 (きむら よういちろう)
 連絡先：090-1322-3165
 raion999jp@yahoo.co.jp



竹の声を聴きながら まちの美化と再生を



NPO 法人 竹林再生工房かぐや乃さと
かき はら とおる
理事長 柿原 達さん

心地よい風が吹く秋晴れの午後。
青々とした芝生が広がる吉野川市山川町のバンブーパーク。
今回お話を伺ったのは、公園奥の川沿いにある放置竹林の『美化と再生』をコンセプトに活動されている、NPO法人竹林再生工房かぐや乃さと理事長の柿原達さんです。

バンブーパークには犬の散歩で来ていたという柿原さん。「ここの竹林も手入れしたら京都のような風情ある竹林になってきれいのになあ」と思い、近所の方と市役所に話をしにいくことに。

「60歳で定年後やろうと思っていた仕事があったんやけど、コロナ禍でタイミングがずれて時間に余裕もあって。結果自分が手入れすることになってしもたんよ。竹林をどうにかしたいという想いは、所有していた吉野川市も指定管理業者も同じだったんやけど、手入れするにあたって県や市の支援も受けられるようにNPO法人化しました。」と団体設立のきっかけを話してくださいました。

竹の伐採だけではなく、竹の再利用として粉碎機で竹パウダーや竹チップを作成。竹林内の散歩道は竹チップを敷き詰めて歩きやすくなっている。その先には開けた空間があり、気功やヨガ教室が開催されることもある。まっすぐに伸びた竹の隙間から太陽光が差し込み、心地よい自然の風が通り抜け、気が整う癒しの場。「竹林って山の斜面にあることが多いんやけど、ここのいいところは平面であること。竹林の中を通り抜けて散歩できる場所ってなかなかないんよ。」と竹林内の散歩道を案内してくれました。

他にも竹パウダーを自然発酵させ田畑や果樹に散布し、有機農法の補助としたり、幼竹を使ったメンマ作り、阿波晩茶を竹筒に入れて発酵させた『竹筒晩茶』の商品化にも携わっている。「やりたいこと、助けてほしいことを口に出すとタイミングよく手助けしてくれる人が現れるんです。61歳からチャレンジするってあほらしいと思う人もおると思うんやけど…安定ではなく面白さやな。前しか見てないです。大変なことも楽しんでやっているから、人が集まってきて繋がりが増えていきよると思ってます。」と柿原さん。

真っ黒に日焼けした優しい笑顔の奥に見える勇敢なチャレンジ精神は、無邪気な子どものように輝いていました。

(取材：森口・佐藤)



＝お問合せ先＝

【住 所】吉野川市山川町北島5番地31

【電 話】090-1005-5551

【メール】t.kakkyon@docomo.ne.jp

LINE 相談とオープンダイアログ



公認心理師・臨床心理士
公的機関で女性相談や福祉部門に携わる。現在はカウンセリングオフィス
フラミンゴにて、トラウマを抱える女性のケアを行っている。
2020年3月より現職。

おおたに

一般社団法人 リボンス 代表 大谷あおい

最終号はLINE相談などから少しお話しします。人間関係で困難を抱えている方が多い印象です。自分が言ったことがあれでよかったか？ 友人の言動にイラっとする。家族が受け止めてくれないなどがあり、自責感を抱いたり、周りのせいだ、と他責に向かったり、それらが極端な状態であるように感じます。そのため、1がダメだとすべてダメとなっていたりしますが、0.2のところはできていたよね、とか、周りの評価はどうあれ、自分はどう思うの？というところを一緒に考えたりしています。

とはいえ、これだけ比べることがあふれている社会の中にいるので、比べなくていいんだよ、あなたでいることが素晴らしいよと伝えても、なかなか難しいと思います。

先日のさんさんマーケットではオープンダイアログと言うやり方を使って、相談者と数人のスタッフとでお話をしました。オープンダイアログは、対等性と不確実性への耐性、多様性を重視した対話の取り組みです。専門家が判断し、結論づけるのではなく、話をした人が、決めていきます。日常で話をするにはあるけれど、対話をする機会はなかなかなく、ジャッジせずに聞いてもらうこと、様々な視点や気づきを得られるものでもあります。LINE相談でもこれらを重視しながら、リアル相談の機会も増やしていきたいと考えています。どこかでお目にかかれる機会があることを楽しみにしています。



「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体、個人からの寄付を助成金として活用し、社会貢献活動に役立てています。今回は、令和6年度の活動報告(その1)です。

TSUBASA Lab.

「TSUBASA PROJECT vol.3 ～夢見る夏休み+SDGs～」



駅前の象徴ともいえるアミコビルでイベントを行うことで、地域の活性化に繋がるとともに、子どもの夢を応援する取り組みも企画に入れ子どもの体験活動を実施した。

キラキラひろば

「絵本作家くすのきしげのり講演会」

親、子ども、地域の大人たちが一緒に本に親しむ機会として絵本作家の講演会を実施し、多世代の方々が読書に親しむきっかけ作りとした。



NPO法人こころのベース

「精神障がいを抱える 当事者によるセミナー・勉強会」

自身の個性や強みを発揮しながら、自分らしく地域生活を送ることを目的に当事者を講師とした勉強会を実施した。



徳島レビー小体型認知症家族会

「徳島レビー小体型認知症家族会」

介護にかかわる一人ひとりが日頃の悩みや想いを自由に吐き出せる「つどい」の場の創出や勉強会等により患者本人とその家族を支援した。



みんなの教室「たいせつなこと」

「人権コンサート ～子どもたちに届け～」

友だちや周りの人を大事にすることは、自分自身を大切にすることに繋がっていることを知ってもらうために、音楽バンドによる人権コンサートを開催した。



ハートリレー

No.70 川上さんから高島さんへ



たかしま
動物介在福祉士 高島ちなみさん

子供たちに読書の楽しみを

難病である多発性硬化症の為、車椅子生活となった私と、私の生活を助けてくれる介助犬あさひ号に、新たに挑戦することができました。

あさひ号は、人前での読書が苦手な子供が本を読むのを、おとなしく聞く読書犬に、私は、読書犬と子供の橋渡しをするハンドラーに挑戦することになりました。

ご指導してくれるのは、徳島県で唯一、動物を通じて人々の生活の質や心の状態を向上させる動物介在福祉士として活躍している高島ちなみ先生です。

子供の手の甲を読書犬に匂わせ仲良くなることや、子供が頑張って読むことに相槌をうち、盛り上げることなどを教わりました。慣れない私とあさひ号に好きな本を読んでくれた子供さんは、最後は笑顔を見せてくれました。高島先生は、これからも読書犬を育成して、1人でも多くの読書好きな子どもを増やしていきたいそうです。今後は、私と読書犬・介助犬あさひ号も、体調の良い時は高島先生のご指導の下、読書犬の訓練、活動を頑張っていきたいと思っています。



あさひが
静かに読書を聞いているところ

かわかみ かずひこ
文・川上 和彦



とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
- 【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
- 日・祝日：10:00～18:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナルより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集 プラザでたくさんの方にお会いして思うこと。

後記 <本気の大人はカッコいい>

どうすればなれるだろう...と考えながら、3月末でプラザを卒業します。みなさんとのご縁に心より感謝です。(丸山)



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP アドプト・プログラム吉野川
吉野川を私たちの手でもっときれいに!

参加団体 募集中!!

HPはこちらから↓

吉野川交流推進会議 徳島県庁 生活環境政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758

一生、いい歯と付き合うために。

「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 松本 侯
徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977

ホームページ



2025年度生(2025年4月1日学習開始)願書受付中!

社会福祉士養成
通信課程

一般養成課程(1年6ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉士養成
通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

教育訓練給付制度対象講座

詳しくは
QRコードから
HPをごらん
ください。



好きを極めてプロになる

徳島県立大学
防災救済バティシエ福祉カレッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-873-2455